

|                |  |            |           |       |                    |
|----------------|--|------------|-----------|-------|--------------------|
| 学校<br>教育<br>目標 | 自分のよさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる<br>【知】自ら課題を見つけ、学びを深める子どもを育てます。<br>【徳】友達のよさや自分のよさを認め、思いやりのある子どもを育てます。<br>【体】心と体を鍛え、自分や人の生命を大切にすることを育てます。<br>【公】地域の理解を深め、共に生きることを実感できる子どもを育てます。<br>【開】様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子どもを育てます。 |            |           |       |                    |
|                | 創立 44 周年<br>児童生徒数: 366 人   | 学校長 石原 加代子 | 副校長 山田 正治 | 2 学期制 | 一般学級: 12 個別支援学級: 5 |
| 学校概要           | 主な関係校: 浜小学校、汐見台小学校、汐見台中学校、岡村中学校、藤の木中学校   |            |           |       |                    |

|   |                            |  |
|---|----------------------------|--|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力                            | 汐見台中<br>ブロック               | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
| < コミュニケーション力 ><br>< 自分づくりに関する力 ><br>< 問題発見・解決能力 > | 汐見台中<br>汐見台小<br>浜小<br>山王台小 | 自らの可能性を追求し、主体的に考え行動する子ども<br>互いの心を大切に、学び合い、高め合う子ども<br>・「豊かな心の育成」をブロック共通テーマとして設定し、年2回の小中<br>合同授業研究会を通してテーマに迫っていく。<br>・道徳の時間を核として全教育活動を通して「豊かな心」を育てていく。<br>・アクティブラーニングを取り入れた授業を通して、主体的に考え行動<br>する子どもを育てる。 |

|                |   |
|----------------|---|
| 中期<br>取組<br>目標 | ○子どもが安心・安全で過ごし、笑顔あふれる学校づくりを目指します。<br>・3年間を通して、生命の大切さと一人ひとりの思いに寄り添う教職員の組織作りに努めます。<br>○様々な活動を通して、自分らしさを発揮しながら相手を尊重できる子どもを育てます。<br>・3年間を通して、一人ひとりが自分に自信をもって行動できるようにします。<br>○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、対話的な学びを充実させます。<br>・1年目は学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。<br>・2年目は子どもの表現を大切にしながら、相手の立場や考えを尊重して発表し合う力を育てます。<br>・3年目は学び合い伝え合うことで自分の考えを深め、ともに高め合って生きる子どもを育てます。 |
|----------------|---|

| 重点取組分野  | 具体的取組          |         |    |              |  |
|---|----------------|---------|----|--------------|--|
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>確かな学力</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学習指導・評価委員会</td> </tr> </table>           | 知              | 確かな学力   | 担当 | 学習指導・評価委員会   | ①より目的意識・相手意識がもてるよう、個別の課題を明確にしながら伝えることで学び合いの場を設定することとなり、ともに高め合う学習集団作りにつながる。②考えの根拠や理由を明確にして、そこから多角的に考えを広げたり深めたりしていけるように指導を工夫する。③地域の材を活かすなどして切実感のある課題を設定し、自ら問題解決学習に取り組めるようにする。                  |
| 知   | 確かな学力          |         |    |              |  |
| 担当  | 学習指導・評価委員会     |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権教育</td> </tr> </table>                  | 徳              | 豊かな心    | 担当 | 人権教育         | ①外部機関と継続して連携する。横浜プログラムの積極的な運用を目指す。教職員を対象とした人権研修で、人権感覚を養う。②たてわりタイムの更なる充実を模索する。③あいさつに加え、言語環境を整えるために保護者や地域を巻き込んだ取組を目指す。   |
| 徳   | 豊かな心           |         |    |              |  |
| 担当  | 人権教育           |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育・安全環境</td> </tr> </table>              | 体              | 健やかな体   | 担当 | 体育・安全環境      | ①保護者の理解を得ながら「ハンカチを持つ・手洗い・うがい」などの基本的な生活習慣に関する指導を行う。②1校1実践運動で、週に一度は学級で長縄に親しむ時間を必ず設ける。また、年度末にその継続した取り組みの成果を発揮する大会的な場を設ける。③食育部を中心に、学校全体で食育に関する共通理解を図る。   |
| 体   | 健やかな体          |         |    |              |  |
| 担当  | 体育・安全環境        |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>自分づくり教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生活総合・キャリア教育</td> </tr> </table>       | 公開             | 自分づくり教育 | 担当 | 生活総合・キャリア教育  | ①生活科や社会科、総合的な学習の時間を中心として、地域の人々との関わりを増やしていく中で、自分づくりに関する力を伸ばす。②「自分づくりパスポート」は、学習や行事と関連させ、計画的に取り組むことで、児童自身が課題を見つけたら成長に気付いたりできるようにする。   |
| 公開  | 自分づくり教育        |         |    |              |  |
| 担当  | 生活総合・キャリア教育    |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>                | いじめへの対応        |         | 担当 | 児童指導         | ①児童支援専任を中心にどのような行為がいじめになるのかを知らせたり、いじめにあったとき、見たときの行動の仕方を学んだりする機会を設ける。②「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などを活用し、社会性や人権意識を育てる。③いじめが発覚したら、学校全体で支援をし、早期解決に努める。   |
| いじめへの対応   |                |         |    |              |  |
| 担当  | 児童指導           |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>メンターチーム研・初任研</td> </tr> </table> | 人材育成・組織運営(働き方) |         | 担当 | メンターチーム研・初任研 | ①校内研修を実施し、学校に求められる教職員の資質向上に努める。②校内重点研究を充実させ、指導力・授業力の向上を図る。③メンターチームの研修を充実させ、メンバーの授業力・指導力の向上を図るとともに職場内での仲間づくり・チームづくりに役立てる。④グループウェアを活用して情報の共有化を図り、効率化を推進していく。                                   |
| 人材育成・組織運営(働き方)  |                |         |    |              |  |
| 担当  | メンターチーム研・初任研   |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務・地域連携</td> </tr> </table>            | 地域学校協働活動       |         | 担当 | 教務・地域連携      | ①学校運営協議会のメンバーを中心に、教職員と意見交換をしながら、学校の成果や課題を共有し、よりよい学校運営に努める。②年度初めに行事や各学年の学習内容の見通しを立て、どのような場面で地域の方と連携がとれるかを洗い出し、適宜情報を発信していく。学援隊やヒルトップサポーターズ、地域の方との交流を深めるために行事や授業など様々な機会に来校していただき、開かれた学校づくりに努める。 |
| 地域学校協働活動  |                |         |    |              |  |
| 担当  | 教務・地域連携        |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">安全管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>安全部</td> </tr> </table>                    | 安全管理           |         | 担当 | 安全部          | ①避難訓練や学校生活において、災害や生活の中の危険に対して児童の意識が高まるように指導を行う。②避難訓練の綿密な実施計画の作成、打ち合わせを実施する。各避難訓練の反省を次の訓練に生かせるように運営する。特別教室のヘルメットの設置を進める。③職員の安全への意識を高めるため、安全に関する研修と点検を年度当初から定期的に行う。                            |
| 安全管理  |                |         |    |              |  |
| 担当  | 安全部            |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育</td> </tr> </table>               | 特別支援教育         |         | 担当 | 特別支援教育       | ①個に応じた支援の必要性と価値についての理解を深め、特別支援を意識した指導を心掛ける。②特性を理由に授業に参加できない状況がないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく授業に参加できるようにする。③学級の種類に関わらず、個別の教育支援計画・指導計画を活用し、見直しをもった支援を行うようにする。                                       |
| 特別支援教育  |                |         |    |              |  |
| 担当  | 特別支援教育         |         |    |              |  |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>                   | 児童指導           |         | 担当 | 児童指導         | ①児童の主体性を育むために、児童の思いや願いを大切に、理解や納得を得て進んで行動できるように指導する。②いじめや問題行動の未然防止のため、日頃から傾聴を大事にし、気付いたことを関係のある職員、もしくは全職員で共有し、迅速に対応する。③児童の人権意識を高め、集団の場、公共の場での適切な態度を育成する。                                       |
| 児童指導  |                |         |    |              |  |
| 担当  | 児童指導           |         |    |              |  |